坂戸市農業委員会の委員　推薦・応募　受付状況　中間公表（令和8年10月30日現在）

受付年月日	受付番号	被推薦者・応募者								推薦者									推薦理由または応募理由	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募の有無
										個人の場合				団体の場合						
		推薦応募の別	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者の該当・非該当	氏名	性別	年齢	職業	名称及び代表者職・氏名	構成員数	目的	構成員たる資格			
R8.10.13	1	推薦	小川　隆	農業	74	男	昭和46年 3月　埼玉県立川越農業高校園芸科卒業 昭和46年 4月　ヘキストジャパン（株）入社(研究所) 昭和51年 3月　日本衛生技術専門学院卒業 平成 8年 7月　ヘキスト薬品工業（株）に移籍 平成11年12月　味の素（株）医薬研究所開発研究所出向 平成22年 4月　味の素製薬（株） 研修学術担当 平成29年 4月　EAファーマ（株）に移籍 平成30年 9月　定年退職 令和元年10月　兼業農家から専業農家 令和 5年10月　認定農業者 令和 6年 4月　坂戸市農業委員会委員就任	主な経営作目　米、野菜 経営耕地面積　水稲90a、野菜15a 従事日数　250日	該当					いるま野農協坂戸支店中小坂支部支部長 増田　茂	38	協同活動の円滑化	いるま野農協の組合員で構成。協同組合の理念に基づき、農協運動を推進することを目的に組織された組合員組織で、各支部の運営を円滑化し、協同活動を効果的に推進することを目的とする。	稲作中心の兼業農家であったが、定年後は野菜を加えて規模を大きくし専業農家として続けています。農業に関連する水利組合等の活動に積極的に加わり、地域農業の現状に精通しており、また地域の行事や役職に積極的に参加し、令和6年より農業員に任命されています。これらのことから農業委員として適していると思われますので推薦します。	無
R8.10.14	2	推薦	長野　佐七	農業	80	男	昭和46年 3月　東洋大学卒業 昭和46年 4月　就農　現在に至る 平成28年 4月　一号堰水利組合理事長 ～令和4年3月 令和 7年 4月　いるま野農協鶴ヶ島支店多和目農家支部長 ～現在	主な経営作目　米、野菜 経営耕地面積　25a 従事日数　120日	非該当					いるま野農協鶴ヶ島支店森戸支部支部長 小川　篤	66	協同活動の円滑化	いるま野農協の組合員で構成される協同組合理念に基づき、農協運動を推進することを目的に組織された組合員組織で、各支部の運営を円滑化し、協同活動を効果的に推進することを目的とする。	農業者として、常に地域の農業振興に積極的に取り組み、地域のリーダーとして農業者や地域住民の信頼は厚く、農業委員として活躍が一層期待されることから推薦致します。	無
R8.10.16	3	応募	林　真由美	弁護士	49	女	平成13年　早稲田大学法学部卒業 平成17年　東京弁護士会登録 平成19年　埼玉弁護士会へ登録変更 平成24年　林法律事務所開設 令和 7年　日の出法律事務所へ名称変更 平成30年～　坂戸市農業委員		非該当									平成30年から坂戸市で農業委員を務めさせていただき、農業経営の重要性と課題を知ることができました。 坂戸市の農業委員会では特に農地転用許可の審査において、他の農業委員及び推進委員の方から闊達な意見を拝聴することも多く、制度と現場との狭間でのご苦労も学ばせていただきました。 今後はこれまでの経験をふまえた上で、弁護士としての法的観点からの意見もさせていただきたいと思っております。	無
R8.10.19	4	推薦	小谷野　輝行	農業	66	男	昭和59年 3月　東洋大学法学部卒業 昭和59年 4月　小川信用金庫入庫 平成13年 1月　埼玉縣信用金庫入庫 令和 8年 3月　同社定年退職 令和 3年 4月　いるま野農協鶴ヶ島支店厚川萱方地区農家支部長 ～令和4年3月	主な経営作目　野菜 経営耕地面積　10a 従事日数　150日	非該当					いるま野農協鶴ヶ島支店川北支部支部長 星野　良平	63	協同活動の円滑化	いるま野農協の組合員で構成。協同組合理念に基づき、農協運動を推進することを目的に組織された組合員組織で、各支部の運営を円滑化し、協同活動を効果的に推進することを目的とする。	農業者として、常に地域の農業振興に積極的に取り組み、農家支部長を務めるなど地域のリーダーとして農業者や住民の信頼は厚く、農業委員として活躍が一層期待されることから推薦します。	無

受付年月日	受付番号	被推薦者・応募者								推薦者									推薦理由または応募理由	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募の有無
										個人の場合				団体の場合						
		推薦応募の別	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者の該当・非該当	氏名	性別	年齢	職業	名称及び代表者職・氏名	構成員数	目的	構成員たる資格			
R8.10.26	5	推薦	浅見　勉	農業	73	男	昭和47年 4月　帝京高等学校卒業 平成29年 3月　坂戸、鶴ヶ島水道企業団退職 平成29年 4月　就農　現在に至る	主な経営作目　野菜 経営耕地面積　2a 従事日数　150日	非該当					いるま野農協坂戸支店入西第六支部 支部長 木下　伸明	64	協同活動の円滑化	いるま野農協組合員で構成。協同組合理念に基づき、農協運動を推進することを目的に組織された組合員組織で、各支部の運営を円滑化し、協同活動を効果的に推進することを目的とする。	農業者として常に地域の農業振興に積極的に取り組み、地域のリーダーとして農業者や地域住民の信頼は厚く、農業委員として活躍が一層期待されることから推薦します。	無
R8.10.26	6	推薦	林　昇	農業	66	男	昭和51年 3月　越生自動車専門学校卒業 昭和51年 4月　(株)藤平自動車入社 昭和59年10月　(株)藤平自動車退社 昭和59年11月　(株)日野アネックス入社 令和 6年 7月　(株)日野アネックス退社後就農 令和 4年 5月～令和 8年 4月　株木用水土地改良区理事 令和 6年 4月　坂戸市農業委員 令和 8年 5月　株木用水土地改良区総代　現在に至る	主な経営作目　水稲 経営耕地面積　1,900a 従事日数　250日	該当					いるま野農協坂戸支店赤尾支部 支部長 林　正和	119	協同活動の円滑化	いるま野農協組合員で構成。協同組合理念に基づき、農協運動を推進することを目的に組織された組合員組織で、各支部の運営を円滑化し、協同活動を効果的に推進することを目的とする。	認定農業者として、常に地域の農業振興に積極的に取り組み、株木用水土地改良区やほ場整備推進協議会の役員を務めるなど、地域のリーダーとして農業者や地域住民の信頼は厚く、農業委員として活躍が一層期待されることから推薦します。	無
R8.10.26	7	推薦	内田　陽久	農業	75	男	昭和49年　埼玉県立川越高校卒業 平成28年 4月　就農　現在に至る 令和 3年 5月～令和 5年 4月　JAいるま野坂戸農産物直売所組合長 令和 4年 8月　認定農業者　現在に至る 令和 6年 5月　坂戸市生産組合人参部会部会長　現在に至る	主な経営作目　野菜 経営耕地面積　40a 従事日数　250日	該当					いるま野農協坂戸支店石井支部 支部長 椎橋　昭	106	組合員との連携・強化	農業者が相互扶助の精神で組織する協同組合に基づき組合員の意思を支店活動に反映し、協同活動の理念を広め地域の活性化につなげ、農業生産力の増進を図ることを目的とする。	認定農業者として、5年後の経営目標、農業経営改善計画を作成し経営管理の合理化、労働環境の改善に取組み農産物は軽トラ市を始めマルエツ、カインズホーム、坂戸農産物直売所等に出荷、又、直売所では組合長もなさり、農業者の信頼は厚く農業委員として活躍が期待されることから推薦します。	無
R8.10.28	8	推薦	新井　雅之	農業	68	男	昭和53年 3月　学校法人中央工学校卒業 昭和56年 4月～平成23年3月　埼玉県土地改良事業団体連合会 平成24年 9月～令和元年10月　エースコック東京工場総務課 令和 3年 4月～　いるま野農協坂戸支店入西地区米出荷組合副会長 令和 3年 4月～　坂戸市農業委員 令和 5年 4月～　入西北部土地改良区　理事、会計担当	主な経営作目　水稲、露地野菜 経営耕地面積　水田180a 畑70a 従事日数　230日	該当					入西北部土地改良区 理事長 渡邉　佐京	242	土地改良事業の適正化かつ円滑化	入西北部土地改良区組合員で構成。土地改良法に基づき、農業生産の基盤整備等を図り、もって農業の向上、農業生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資することを目的とする。	農業団体の役員として、常に地域の農業振興に積極的に取り組み、米出荷組合副会長を務めるなど、地域のリーダーとして農業者や地域住民の信頼は厚く、農業委員として活躍が一層期待されることから推薦します。	無